

富良野市議会だより

No 94

2021.8

<令和3年>

フウノギカイ

主な内容

- ・ 6月定例会で行われた主な質疑 P2
- ・ 一般質問 P4~5
- ・ 議会改革特別委員会報告及び設置動議 P6
- ・ 採択された意見書 P7
- ・ 議会の中からこんにちは・編集後記 P8

深緑の布部川



富良野市議会だよりは古紙パルプ配合率
60%再生紙を使用しています。

6月定例会

教育委員会教育長として、近内栄一氏を再度任命することに同意したほか、補正予算案を可決

令和3年第2回定例会（6月定例会）が6月10日から23日までの14日間で開かれ、各議案の審査が行われました。

令和3年度一般会計補正予算
1億278万4千円を増額

関係人口創出事業費

274万5千円

事業内容

環境省の補助金を活用し、国立公園内でのアクティビティを旅行・観光業界の担当者が体験することでワーケーションに特化した旅行商品の検討につなげる事業と魅力を発信するサイトを作成し、ワーケーションの誘客による関係人口の創出を図るものです。

問 国立公園内の具体的な場所とアクティビティの内容は。

答 国立公園内では原始ヶ原を予定し、登山体験のほか、市内での体験メニューを考えている。

問 本事業は一括して委託するのか。また、サイト作成内容が観光など既存の情報発信と重複するのではないか。

答 担当者の招へいとサイト作成は一本化して発注したい。ワーケーションに特化しているものの、多少の重複はやむを得ないと考えている。

体育施設管理費 391万6千円

事業内容

スポーツセンターのバスケットゴールを4面のうち2面分を交換

するものです。

問 北九州市での落下事故を受けて緊急点検を行った結果と説明しているが、通常の点検はどうだったか。予算に無い2面分の状況は。

答 例年3月に点検を行っており、本年の点検で指摘を受けて、修繕方法を検討した結果、交換となった。残り2面分は平成30年に交換済みである。

新型コロナウイルス対策観光振興事業費 3268万円

事業内容

秋の「ふらの割」として、9月から10月までの宿泊誘客を行うほか、利用者アンケート回答者に、市内で利用できるクーポン券を配布する事業です。

問 アンケートの回収率向上の方法と回収時期は。クーポンが使える店舗と換金手数料は。

答 方法は従来のウェブを基本に、紙での回収も行う。時期はチェックイン以外の滞在中を想定する。使える店舗と換金手数料は、地元店舗応援クーポンと同様である。

問 今回のふらの割の時期とビジネス客は対象か。

答 時期は、9月から10月まで

の秋シーズンでの展開を予定。ビジネス客も対象と考えるが、詳細は観光協会や宿泊施設が判断することになる。

「北の国から」放映40周年記念事業実行委員会補助金 500万円

事業内容

放映40周年となるテレビドラマ「北の国から」に関係する人々とともに振り返り、ドラマの精神文化を次世代に引き継ぐことを目的に実行委員会へ補助するものです。

問 今回の事業内容及び、実行委員会の体制構築と市長が委員長に就任した経緯は。

答 6月22日のミニ資料館オープンを皮切りにロゴマークの作成、スタンプラリー、記念グッズ作成、ドラマセットの再開のほか、メディア発信を行うと伺っている。さらに10月にはイベントとして同窓会的な内容を企画している。

実行委員会は、5月に組織された。実行委員長への就任は、観光協会と倉本財団をはじめ、市民有志から市長に要請され快諾したと承知している。

令和3年 第2回 富良野市議会定例会 議決結果表

議決結果表

議案番号	事 件 名	議決月日	議決結果
議案第 1 号	令和3年度富良野市一般会計補正予算(第4号)	6月23日	原案可決
議案第 2 号	令和3年度富良野市介護保険特別会計補正予算(第1号)	6月23日	原案可決
議案第 3 号	令和3年度富良野市水道事業会計補正予算(第1号)	6月23日	原案可決
議案第 4 号	富良野市個人情報保護条例等の一部改正について	6月23日	原案可決
議案第 5 号	富良野市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について	6月23日	原案可決
議案第 6 号	富良野市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	6月23日	原案可決
議案第 7 号	富良野市税条例の一部改正について	6月23日	原案可決
議案第 8 号	富良野市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	6月23日	原案可決
議案第 9 号	富良野市公共下水道事業の設置に関する条例の一部改正について	6月23日	原案可決
議案第10号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	6月23日	原案可決
議案第11号	富良野市教育委員会教育長の任命について	6月10日	任命同意
議案第12号	富良野市教育委員会委員の任命について	6月10日	任命同意
議案第13号	令和3年度富良野市一般会計補正予算(第5号)	6月23日	原案可決
議案第14号	株式会社富良野振興公社の株主総会における議決権の行使について	6月23日	原案可決
諮問第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について	6月10日	適任
報告第 1 号	継続費繰越計算書について	6月10日	報告済
報告第 2 号	繰越明許費繰越計算書について	6月10日	報告済
報告第 3 号	事故繰越し繰越計算書について	6月10日	報告済
報告第 4 号	専決処分報告(自動車事故の損害賠償及び和解について)	6月10日	報告済
意見案第1号	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	6月23日	原案可決
意見案第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書	6月23日	原案可決
意見案第3号	2021年度北海道最低賃金改正等に関する意見書	6月23日	原案可決
その他会議に付した事件	富良野市議会議会改革特別委員会報告 ※詳しくは6ページをご覧ください	6月10日	調査済
	動議 議会改革特別委員会の設置について ※詳しくは6ページをご覧ください	6月23日	特別委員会設置 継続調査
	監査委員報告		
	・例月出納検査結果報告(令和2年度1月分～4月分、令和3年度4月分)	6月10日	報告済5件
	閉会中の所管事務調査について(総務文教・市民福祉・経済建設)	6月23日	許可3件

次回定例会(令和3年9月)のご案内

次回定例会の開会予定です。開会は通常10時となっています。

日	月	火	水	木	金	土
8/29	30	31	9/1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
		本会議				
12	13	14	15	16	17	18
		一般質問	一般質問	予備日		
19	20	21	22	23	24	25
	敬老の日		本会議			
26	27	28	29	30	10/1	2

議会日程は変更になる場合があります。

調査申出

●各委員会では議長の許可を受け、閉会中、次のとおり事務調査を行います。

委員会名	調査番号	調査件名
総務文教委員会	調査第1号	生涯学習センターについて
市民福祉委員会	調査第2号	民生委員児童委員の活動の現状と課題について
経済建設委員会	調査第3号	観光における富良野の魅力発信について

ここが聞きたい! 一般質問

令和3年第2回定例会において3人の議員が一般質問を行いました。文責は、質問者にあるものとして、質問・答弁の要旨を掲載しております。なお、議員顔写真は質問中ではなく、別途撮影した写真です。

質問者が収録されている動画のタイトル、動画上で質問が開始される時間は下記のとおりです。

・富良野市議会 議会中継 (令和3年6月17日)		
渋谷 正文 議員		55秒 ごろ
大西三奈子 議員	40分	1秒 ごろ
宮田 均 議員	1時間 28分	3秒 ごろ



富良野市議会のYouTubeチャンネルでは、議案質疑や一般質問など、本会議のすべてを視聴できます。左のQRコードを読み込むとサイトに接続できます。

ネーミングライツ事業の手續きに市民との合意形成が必要

新庁舎に複合化する「富良野文化会館」のネーミングライツ（施設命名権）事業について

問 ネーミングライツ募集の目的には、その対価を新たな財源として安定的な施設の維持管理・運営を図り、文化芸術の振興を推進するとある。新たな財源として文化芸術の振興を推進するということは、これまでの予算を増額する考え方を示しているのか。

答 新たな財源の用途として、財源安定的な施設の維持管理・運営等、文化芸術の振興を図ることを視野に実施した。後々は施設修繕としてかかってくるが、当初の用途として、市民に観ていただくもの等と呼び込む財源にも活用ができると考えている。

問 市民と行政が共に考え、アイデアを出し合い、共に創っていく、「共創」によるまちづくりに取り組んでいくためにも、市民との合意形成を図るための配慮ある進め方が大切である。

答 今回の行政手続きには改善が求められるものと考えますが、見解は、広告掲載事業の一環として実施するものであり、平成20年「富良野市広告掲載規程」策定時にパブリックコメントを実施しており、

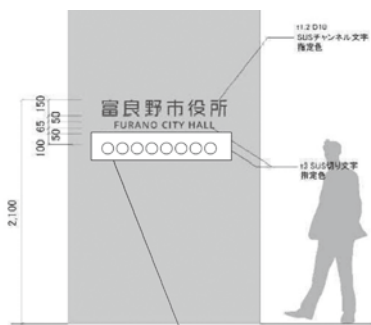
渋谷 正文
〔ふらの未来の会〕



対象は市有施設とし、具体的に対象施設の決定、広告掲載場所、募集方法等は当該施設の所管部が行い、対象施設ごとに募集要項等を定め周知することを規定している。

問 市民との合意形成を重視するということを明確に打ち出して、ネーミングライツ事業について取り進めて欲しいと考えるが。

答 他市ではネーミングライツの基本的事項を定めているところもある。基本的事項を定めるときは、市民のご意見を伺い、慎重に検討していきたい。



ネーミングライツ愛称表示

「富良野文化会館」ネーミングライツのイメージ

ポストコロナ時代 子育てに伴う経済的支援の充実を求める

大西 二奈子
〔ふらの未来の会〕

ポストコロナ時代の子育て環境や満足度の充実について

問 第6次総合計画ならびに第2期子ども子育て計画に示す数値目標、「子育て満足度8割」を達成するための中長期的な支援策は。

答 相談支援体制づくりを進めるとともに、子育て世代への積極的情報提供と利用しやすい環境づくりにより、満足度向上を目指す。

問 コロナ禍における地域経済の停滞が、各家庭の所得にも影響しているとの認識から、昨年度同様、子育て世帯への本市独自支援（学校給食費4カ月無償、ふるさと農産物配布など）が必要と考えるが見解は。

答 経済的支援が必要な保護者に対しては、既存の就学援助制度の運用や、国の「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」の速やかな支給を行うことで子育て支援に努めることとし、本市独自に全てのご家庭への支援策は現在考えていない。

問 「新たな生活様式」に変化する現代、若者や子育て世代が本市への移住を考えるチャンスであり、人口の社会増を目指す機会と捉える。他市と比較し「給食

費無償化」「医療費無償化」「保育料の独自支援」など本市独自の経済的支援策を市民は求めている。計画推進に向けた具体的内容を伺う。

答 子育て環境が整っていることや本市の魅力を生かしたまちづくりは大事だと理解している。もう一つは、地域が連携して子どもを育てる環境づくりが大切で、まだまだ努力が必要と考えている。計画推進にあたっては、既存の取組の継続・充実、新たに検討すべきものに分類し、総合的な子育て支援施策や子育て環境の充実に努めていく。



土地取引の活性化による固定資産税への影響は

宮田 均
〔無会派〕

土地取引の活性化に伴う固定資産税への影響について

問 土地取引の活性化に伴い、固定資産税の上昇を危惧する声を聴く。今後の見解は。

答 北の峰町の北海道地価調査における地価は、平成28年と令和2年の変動率は34%上昇している。固定資産税は、評価額を基に課税標準額を算出しており、住宅用地には課税標準の特例を設け、税額を算出している。

地価の上昇に伴い、評価額も上昇するため、今後も土地取引が継続し地価上昇が続くとすれば、課税標準額への影響が想定される。

3年ごとに行う評価替えでは、上昇した評価額に合わせた課税標準額を算定すると、納税者の負担が急増するため、税法の負担調整措置により緩和策を講じている。

問 コロナ禍による市民税の収入見通しと財政運営について

問 市民税の現状と今後の見通しは。

答 市民税の今年度予算は、前年度から約5%減で計上している。所得が確定した6月時点の個人市民税の調定額に、収納



率が前年並みで推移した場合、9億3066万円となり、今年度予算に対する割合は99・7%を見込む。

法人市民税の調定額では、今後、前年並みの収納率で推移した場合、1億6128万円となり、今年度予算比では96・5%を見込んでいく。

市民税の現年度課税分の総体では、収入見込みが10億9194万円となり、今年度予算の99・2%となる見込み。

問 財政運営の現状と見通しは。

答 市民サービスを持続的・安定的に実施するため、一般財源の確保を図る。

ふらの 子育て支援 INDEX 2021年春夏版



子育て支援の見える化



土地取引価格の上昇がみられる北の峰地区

議会改革について

〔最終報告〕

議会改革特別委員会

本特別委員会は、さらに市民に開かれた議会実現のため、令和元年第2回定例会において設置され議論を進めてきました。

（新たな取り組みについて）

様々な提案がされ、協議の結果、市民からモニター員を選任し、意見を広く聴取し議会運営に反映することを目的とした「議会モニター制度」の導入、また、子ども達が議会や市政にふれる機会をつくることでまちづくりへの興味を持ってもらうことを目的とした「子ども議会」の実施。以上2点の実施に向け検討を進めてきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、本特別委員会の任期中における実施を断念しました。

一方で感染拡大の中でも取り組みを進めるために、議会広報特別委員会と連携し議会広報紙の紙面変更を行い、市民からは見やすくなどの良い評価が聞かれました。他にも、議会報告会における広聴活動の強化策を検討していましたが、感染拡大により令和2年度における議会報告会の実施が見送られました。

感染症の影響により予定していた取り組みの実施はできませんでしたが、今後はオンラインをはじめとしたICTの活用による市民意見聴取の機会を模索していく必要もあると考えています。

（議会基本条例について）

議会運営委員会より諮問があり、本特別委員会で議論を行った議会基本条例の検証については、検証時期と検証方法を明確にすることが必要と判断しました。

検証時期については改善の取り組みが可能となるよう、議員任期の中間年に行うこととし、検証方法は、段階評価による検証を行うため検証シートを策定しました。

今後は、定期的な検証と改善の取り組みが蓄積されることで、議会基本条例の目的達成に寄与すべきと意見を付して議会運営委員会に報告をしました。

（議員定数について）

令和2年第3回定例会以降、議員定数について議論を進めてきました。本市議会における、過去の定数に関する議論経過を確認し、ポイントを整理し、全議員で共有するため自由討議を開催しました。

定数の議論に向けたポイントとして次の6点が挙げられました。

- ①本市の農業、観光、建設土木、その他サービス業などからなる複雑かつ多様な産業構造を考慮すること。
- ②少子高齢化や人口減少などの人口動態を考慮すること。
- ③本市における合併の経過や広範囲にわたる郊外地域など地域性を考慮すること。
- ④行政のチェック機能を果たすための議会機能の維持強化に努めること。
- ⑤全国的にも懸念されている議員のなり手不足への対策として環境整備に努めること。
- ⑥本市議会における議会改革の取り組みを可視化し市民理解の促進に努めること。

本委員会任期での議論では、具体的な議員定数を決定するには至りませんでした。定数の削減もしくは現状維持での結論に至りました。令和5年4月に予定されている統一地方選挙を踏まえ、具体的な定数の決定とポイントに挙げられた議会機能の維持強化、環境整備が必要であると意見の一致を見ました。

〔動議〕 議会改革特別委員会の設置について

定例会最終日の6月23日に議会改革特別委員会の設置動議が提出されました。

この委員会は、6月10日の報告を受け、議員定数の具体的結論を得るため、特別委員会による調査・検討を行うものです。

合わせて、7名の委員で構成し、議員任期中の継続調査とするものです。

委員の構成は左のとおりです。



宇治 則幸委員、本間 敏行委員、佐藤 秀靖委員、後藤 英知夫委員
日里 雅至委員、水間 健太委員長、石上 孝雄副委員長

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

北海道の森林は全国の森林面積の約4分の1を占め、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるために森林資源の循環利用を進める必要がある。

森林の整備を進め、木材を積極的に利用していくことは、山村地域を中心とする雇用・所得の拡大による地方創生にも大きく貢献するものである。さらに、温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする目標の達成に向けて、全国一の森林資源を有する北海道が森林吸収源対策を積極的に推進する責務を担うことが必要である。

北海道の森林を将来の世代に引き継いでいくため、活力ある森林づくりや防災・減災対策をさらに進め、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化が実現できるよう、施策の充実・強化を求める意見書。

地方財政の充実・強化を求める意見書

新型コロナウイルスにより、いま地方自治体には新たに多くの行政需要が発生し、あらゆる課題に即時の対応が求められている。それと同時に、社会保障への対応、子育て支援策の充実、地域交通の維持・確保など、少子・高齢化の進展とともに、従来からの行政サービスに対する需要も高まりつつある。しかし、現実に公的サービスを担う人材は不足しており、疲弊する職場実態にある中、近年多発している大規模災害、またデジタル・ガバメント化への対応も迫られている。

地方の財源対応について、政府はいわゆる骨太方針に基づき2018年度の地方財政計画の水準を維持してきた。しかし、新型コロナウイルスへの対応により巨額の財政出動が行われ、来年度以降の地方財源が十分に確保できるのか、大きな不安が残されている。このため、来年度の地方財政の政府検討に当たり、地方財政の確立を求める意見書。

2021年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

最低賃金の引き上げは、ワーキングプア解消のための「セーフティネット」の一つとして最も重要なものである。

道内で働く者の暮らしは依然として厳しく、年収200万円以下の労働者は、道内でも48・9万人と、給与所得者の29・6%に達している。

また、道内の全労働者216万人の内、23・5万人超が最低賃金に張り付いている実態にある。

労働基準法では、労働条件の決定は労使が対等な立場で行うと定められているが、多くの非正規労働者は、労働条件決定にほとんど関与することができない。

経済財政運営と改革の基本方針において、早期に全国加重平均が1000円になることを目指すことが堅持され、北海道地方最低賃金審議会の答申書においても、全国平均1000円に向けた目標設定合意を7年連続で表記した。

よって、2021年度の北海道最低賃金の改正に当たり、基本方針の尊重を求める意見書。

可決された意見書(抜粋)

第2回定例会に議員提案された意見書は3件です。意見書は可決後、直ちに関係機関に送付しました。

委員会報告 意見書

議会日誌 ～5月から7月の議会関係の開催状況をお知らせします～

5月

- 11日・議会運営委員会
・第2回臨時会
- 25日・議会改革特別委員会

6月

- 2日・議員協議会
- 7日・議会運営委員会
- 10日・第2回定例会(1日目)
・議会広報特別委員会
- 17日・第2回定例会(2日目)
・総務文教委員会

- ・市民福祉委員会
- 18日・議会運営委員会
- 23日・第2回定例会(3日目)
・議員協議会
・経済建設委員会
- 29日・市民福祉委員会

7月

- 1日・総務文教委員会
- 2日・議会広報特別委員会
- 5日・第3回臨時会
・議員協議会

- ・議会運営委員会
- ・経済建設委員会
- 9日・総務文教委員会
- 14日・市民福祉委員会
- 19日・議会運営委員会
- 20日・議会広報特別委員会
・市民福祉委員会
・議員協議会
- 21日・経済建設委員会
- 29日・議会運営委員会
- 30日・総務文教委員会

おめでとう
ございます

議会の 中から こんにちは

全国市議会議長会特別表彰



受賞者を代表して天日議員からコメントをいただきました。

この度、全国市議会議長会特別表彰において15年表彰として天日公子、10年表彰として黒岩岳雄、関野常勝、石上孝雄、本間敏行の5名が受賞いたしました。また、市長からお祝いの言葉を頂きました。このたびの受賞に際しましては、市民の皆様、先輩議員や同僚議員の皆様、職員の皆様のお支えをいただきまして受賞できたものと思っております。

さて、議員各々はそれぞれに思いを持ち、一議員として、また、議会からの立場で活動をしてまいりました。その調査・活動が市民の皆様が届くようにと励んでいましたところ、昨年からの新型コロナウイルス感染症で、なかなか思いや活動を届けられない環境にあり残念でございます。これからも理解をいただけるように、富良野市の発展と市民の福祉向上、生活向上のために一層努力をしてまいりたいと思っておりますので、多くの皆様方からのこれまで以上のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げ、一言といたします。

議会を 見る聴く

インターネット中継

本会議や一般質問はインターネット中継を行っています。

[富良野市議会インターネット中継](#) [検索](#)
インターネット生中継・録画中継

ラジオ放送

一般質問の質疑を編集したものをラジオふらので放送しています。放送日程については議会ホームページなどをご確認ください。

議会を 読む知る

議会広報紙

定例会ごとに、議会広報紙を発行し全戸配布しています。ホームページからもご覧いただけます。

議会ホームページ

議会ホームページでは、本会議や諸会議の開催案内や会議録などを掲載しています。ぜひご覧ください。

フラノギカイNo.93の修正加筆について

5月発行のNo.93、2ページの主な議案と質疑中「地域センター病院新型コロナウイルス感染症対策支援金」の「答」で「富良野市の負担は263万3千円となる」は、予算額の約半分に係るものであり、予算総体に占める富良野市の負担額は813万3千円となります。

編集後記

▼後期の委員会が新メンバーでスタートしました。議会広報誌の発行は、平成11年から始まり今回で94号となりますが、市民の心に響く紙面の充実を目指して取り組んでまいります。

▼コロナ禍で、心の拠り所として、寺院等へ足を運ぶ人々が増えていると聞きます。

▼そのひとつに、職人の神様でもある聖徳太子講が山部地区に存在し、先人の思いが連綿と引き継がれ、今年で誕生91年を迎えます。コロナ時代に和の心を広め明るい社会になるよう願いを込めて。



(委員長 関野 常勝)

発行責任者

議長 黒岩 岳雄

議会広報特別委員会

委員長	関野 常勝
副委員長	水間 健太
委員	小林 裕幸
〃	渋谷 正文
〃	大西三奈子
〃	宮田 均
〃	松下寿美枝

2021.8
(令和3年)

富良野市議会だより
NO.94

[発行] 富良野市議会 [編集] 富良野市議会広報特別委員会
〒076-8555 北海道富良野市弥生町1番1号(議会事務局)

[TEL] 0167-39-2322

[URL] <http://www.city.furano.hokkaido.jp/shigikai/>

